

第11回 いせさき能

采女

うねめ



2016年1月23日 土

13時30分開演 [12時30分開場]

伊勢崎市境総合文化センター [大ホール]

独吟 番外曲「親任(大聖寺)」加藤眞悟

仕舞 「春日龍神」梅若万佐晴

狂言 「清水」深田博治

能 「采女」美奈保之伝 加藤眞悟

◆席・料金 全席指定
S席/3,000円(友の会2,700円)
A席(一般)/2,000円(友の会1,800円)
A席(高校生以下)/1,000円(友の会900円) ※未就学時の入場はご遠慮ください。

◆チケット発売 10月22日(木)9時から友の会会員電話先行予約
(境総合文化センターのみで受付/席の指定はできません)
10月24日(土)9時から窓口発売、13時から電話予約

◆主催:いせさき能実行委員会 ◆主管:(公財)伊勢崎市公共施設管理公社 ◆後援:伊勢崎市・伊勢崎市教育委員会・伊勢崎市観光物産協会 ◆協力:眞話会
◆プレイガイド 伊勢崎市境総合文化センター・伊勢崎市文化会館・赤堀芸術文化プラザ ◆お問い合わせ 伊勢崎市境総合文化センター TEL0270-76-2222

写真提供/前島写真店

采女

うねめ

2016年 1月23日

午後1時30分から
午後5時00分頃まで

番組

① 曲目解説 ご案内 丹羽幸江

② 独吟「親任(大聖寺)」 加藤眞悟

③ 「高砂」を謡ってみよう
みなさんで「高砂」を謡ってみませんか

指導 加藤眞悟
小鼓 幸 信吾
大鼓 亀井広忠

④ 仕舞「春日龍神」 梅若万佐晴

⑤ 狂言「清水」

シテ 深田博治
アド 岡 聡史

⑥ 能「采女」美奈保之伝

シテ 加藤眞悟
ワキ 安田 登
ワキツレ 高橋正光
間狂言 高野和憲
笛 栗林祐輔
小鼓 幸 信吾
大鼓 亀井広忠



あらすじ

独吟「親任(大聖寺)」

大聖寺の尊堯がさる人の子息である花菊・千満を匿っているが、敵対する那波成澄から引き渡され、花菊は応じなければ寺を焼け打ちにすると脅迫される。花菊は自らを引き渡すように求め、千満も兄の身代わりになることを求めるが、親任をはじめとした衆徒は固結して成澄を討つことを決める。寺の能力の機転により、成澄らに酒をあたえ、油断に乗じて衆徒たちは攻め立てる。花菊・千満もこれに加わり、成澄を討つ。(伊海孝充著「切合能の研究」より)

観世長俊の作「大聖寺(だいしようじ)」とされるが、演能記録は残っていない。今年も独吟という上演形式で曲の一部を一人で謡います。

仕舞「春日龍神」

明恵上人が仏教発祥の天竺(インド)に行こうと思ひ春日大社にお別れを告げに行くと、老人が出てきて「春日野こそ現世の浄土」、「今ここに天竺の浄土を見せる」と約束して立ち去る。後半では、大地が震動して八大竜王たちが現われ釈尊の説法の間を見せ、猿沢の池に消えていく。仕舞では最後の部分を紋服袴で舞います。

狂言「清水」

茶会の準備のため主人(アド)は太郎冠者(シテ)に清水で水を汲んでくるように命じますが、鬼が出たと嘘を言って引き返します。不審に思った主人が清水に行くと、先回りをした太郎冠者が鬼の面をつけて待ち伏せすると、...

能「采女」美奈保之伝

旅の僧一行(ワキ・ワキツレ)が春日大社に参詣すると、一人の女(シテ)が現れ、春日の森に木を植える。不審に思う僧たちに、女は春日大社創建の故事を語り、木を植えることが神への手向けとなることを説く。女はさらに僧たちを猿沢の池に案内し、帝の寵愛が薄れたことを嘆いて、この池に身投げをした采女のことを語り、自分がその采女の幽霊だと告げて姿を消す。(中人)僧たちが吊っていると采女の幽霊(後シテ)が現われ、采女は和歌や舞によって宮廷に仕えていたことを物語し、帝の寵愛が薄れる前、曲水の宴の前で御代の永遠を願う舞(序之舞)を舞って、御水を祝福して再び池の中に消える。小書「美奈保之伝」がつくと、春日大社や采女が省略され、采女の入水に焦点を当てた演出になります。

お抹茶のおもてなしがあります。

先着150名 無料・11時30分受付
1階ロビーにて

展示コーナー

能面・能装束、友禅作家石原清紫氏の着物展示、風喜人氏による書の展示もあります。(ただし上演中は閉鎖)

着物での来場者に粗品贈呈

伊勢崎市観光物産協会提供のクリアファイル(先着100名様)

和服の着付けサポート

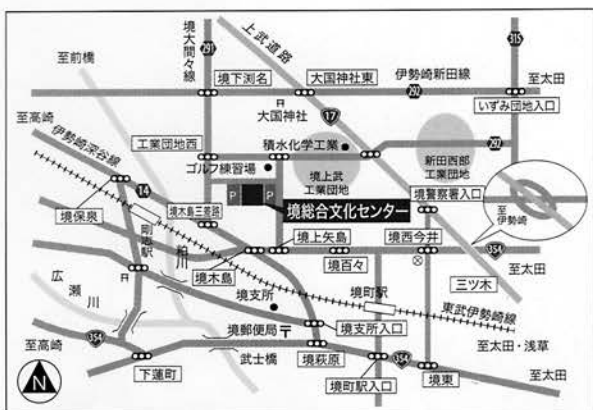
～着物でお能を鑑賞しませんか～

・着物は持っているが一人では着られない方に着付けのお手伝いをします。

・事前申込制(先着10名様/12月1日から受け付け開始)

・申込先・お問合せ:
携帯電話080-5532-6248(斎藤)

携帯メール:
hanagoromo.kimono@ezweb.ne.jp



伊勢崎市境総合文化センター
〒370-0104 伊勢崎市境木島818 TEL. 0270-76-2222
<http://www12.wind.ne.jp/sakaibunka/>



伊勢崎市図書館
伊勢崎市曲輪町22-21 TEL. 0270-23-2346
<http://www.library.isesaki.gunma.jp/>

関連プログラム ※参加は無料

能楽講演会「能「采女」のお話」～伊勢崎の地名に残る「采女」～

- 日 時 平成27年12月20日(日) 午後1時30分から午後3時30分まで
- 場 所 伊勢崎市図書館(伊勢崎市曲輪町22-21)
- 内 容 能「采女」のお話 講師・加藤眞悟
- 対象者 どなたでもご参加いただけます
お抹茶のおもてなしをさせていただきます。

【同時開催】 日 時 平成27年12月10日から当日まで
午前9時から午後5時まで(閉館日を除く)
場 所 伊勢崎市図書館2階展示室
内 容 能面・能装束の展示